東北地方整備局　災害現地対策本部

H20.7.20　東北地整　No. 30
災害現地対策本部　活動通信

平成20年岩手・宮城内陸地震における河道閉塞（天然ダム）の直轄砂防災害関連緊急事業及び道路の災害復旧支援を迅速かつ円滑に行うため、栗原市役所内に災害現地対策本部を6月20日に設置。

【7月19日20時　災害現地対策本部情報】

1．震度4の地震発生を受けヘリコプターによる調査を実施

・19日午前11時39分ごろ、東北地方でやや強い地震があり、宮城県等で震度4の地震が観測されました（栗原市では、金成地区のみ震度4、他地区は震度3）。気象庁によると、震源地は福島県沖で、震源の深さは約10キロ、地震の規模（マグニチュード）は6．6と推定されています。

・気象庁は宮城、福島両県の沿岸に津波注意報を発令。実際に、宮城県石巻市鮎川と仙台港などで20cmの津波が観測されました。

・この地震を受け、東北地方整備局では河川計画課大平係長がヘリコプター「ほくりく」により上空から河道閉塞箇所などの現地状況の調査を実施。その結果、異常は確認されませんでした。

・緊急事業施工箇所の点検結果においても、被災は確認されませんでした。また、栗原市等の関係機関の調査においても特段の被災は報告されませんでした。

▲ヘリコプターによる調査結果写真（7月19日地震発生後撮影）

2．工事実施状況

①浅布地区：　仮排水路被災箇所復旧継続
②小川原地区：　仮排水路被災箇所復旧継続
③温湯地区：　工事用仮設道路被災箇所復旧継続
④湯ノ倉温泉地区：　ポンプ運転継続（15台），工事用道路等造成継続
⑤湯浜地区：　進入路現地調査
⑥沼倉地区：　上流右岸部仮設道路整備〈沼倉〉
　　砂防堰堤袖部保護・転石破砕継続〈沼倉裏沢〉

3．「花山地区現地連絡所」に安全装備品を用意

18日に開設された「花山地区現地連絡所（花山詰所）」に安全装備品が用意されました。これにより、現地調査等が安全で迅速に行われるようになります。

長靴	25.5	1足
	26.0	2足
	27.0	2足
ピン付長靴	M（24.5～25.0）	2足
	M（25.5～26.0）	5足
ヘルメット		5個
安全ベスト		5着
ライフジャケット		5着
合羽	L	2着
	LL	3着
熊鈴		5個
軍手		

▲「花山詰所」装備品一覧